

**カツオたたきバーガー第2弾
学校給食に初登場！**



大方高校生が伊田小学校を訪問。児童らはバーガーをおいしそうに頬張っていました。

大方高校生が考案した「カツオたたきバーガー」の第2弾が、3月5日、町内すべての小中学校の給食に登場しました。

カツオたたきバーガーは、平成21年、大方高校の「自律創造型地域課題解決学習」で誕生。しかし、たたきは生の部分が多く販売に制約があったため、平成25年度の高校2・3年生が改良に取り組み、第2弾を作りました。

第2弾は、出荷時に廃棄されていたミョウガの茎を有効活用したタルタルソースが特徴。たたきは、オーブンで焼いて中まで火を通しました。今後も学校給食に取り入れる予定です。

**佐賀地域に古くから伝わる
「鹿島神社大祭」で豊漁祈願**

「よいよい！よいよい！」威勢のいい掛け声にあわせ、みこしを担いで駆け出す若者たち！

鹿島神社大祭は、漁師の大漁と航海の安全を祈願し、人々の幸せと健康をお祈りするもので、毎年3月の第1日曜日に行われます。

今年も、3月2日に開催。高校を卒業したばかりの地元の若者や、2年前からこの時期に来町している埼玉大学の学生ら約30人が、男みこしと女みこしを担いで港町一帯を練り歩きました。

また、旧横浜保育所と黒潮一番館では子どもたちが鼓踊りを奉納。一生懸命踊り、見る人を楽しませてくださいました。



色とりどりの衣装を着た子どもたちが、歌に合わせて太鼓をたたきながら舞う「鼓踊り」。

**大方民踊クラブ50周年記念
「ふるさとの民踊の夕べ」**



心を込めた歌と踊りで、町内外から集まった約400人のお客さんを魅了しました。

大方民踊クラブ（小室保子会長）の発足50周年を記念して、3月15日、ふるさと総合センターで「ふるさとの民踊の夕べ」が行われました。

同クラブは、公民館活動の一環として昭和37年に発足。以来、会員の仲間づくりや健康づくりと合わせて、郷土芸能の発掘と伝承に取り組んできました。

第1部では、黒潮町に伝わる「節づくり歌」「新佐賀音頭」、高知県の「よさこい節」「しばてん踊り」など、地元で伝わる民踊を披露。また、鞭部落芸能保存会も「太刀おどり・鎌おどり」で出演し、発表会を盛り上げました。

**図書館企画展「光の切り絵」
1350人が夢じかんを堪能**

3月15日・16日の3日間、町内2会場で「図書館×光の切り絵Ⅱ 夢じかん」に遊びに来てね！が行われました。昨年7月に入野の浜に幻想的な世界を作った光の切り絵作家・酒井敦美さんの作品を中心とした企画展で、黒潮町では3回目の開催。

大方あかつき館では、光の当て方で2つの表情を見せる「一画二驚」と、日没後、建物の壁や芝生に投影する「野外幻灯」を実施。

黒潮町総合センターでは和紙製スクリーンに作品を写し、周囲に配置した書家・北古味可葉さんの海の絵に、来場者が描いた海の生き物の絵を飾りました。



佐賀地域では初の展示。波の音が聞こえる幻想的な空間が広がっていました。